

# 令和8年度こまき巡回バス再編に係る課題整理について

## 課題整理

令和8年度こまき巡回バス再編の基本方針(案)の検討にあたり、公共交通に係る社会情勢、各種ニーズ調査等の結果、現路線の利用状況などの現状を踏まえ、課題を整理しました。

### 公共交通を取り巻く社会情勢に関する課題

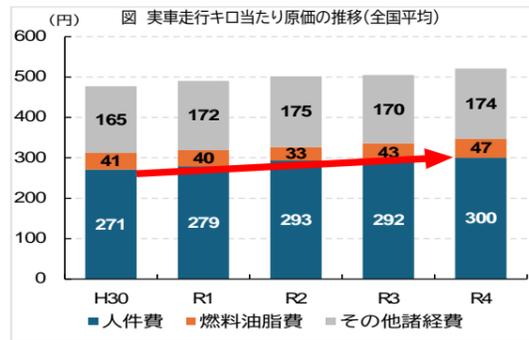
#### ✓運転手不足

全国的な慢性的運転手不足に加え、厚生労働省の「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」が改正され、令和6年4月より適用となったことから、これまで以上に運転手の拘束時間の削減や休息時間の確保等が求められるようになり、運転手不足に影響を及ぼすことが考えられます。

運転手を確保するために運行事業者による様々な努力がなされているところですが、運転手の高齢化などもあり、運転手を確保することが困難な状況であることから、こまき巡回バス「こまくる」においても、ルートやダイヤなど現在のサービス水準を維持できない恐れがあります。

#### ✓燃料費、人件費の高騰

バスの燃料となる軽油価格は近年値上がりが続いており、他にも、運転手不足等の影響により、人件費が増加傾向にあることから、乗合バス等の運行経費が増加する一因となっています。



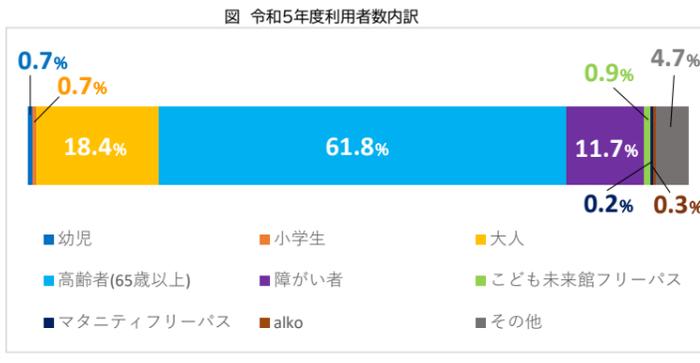
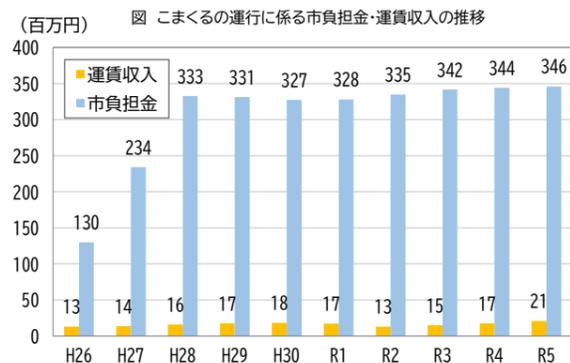
### 経済性に関する課題

#### ✓運行負担金の増加

こまき巡回バス「こまくる」の運行には、約3億4千万の費用を要しており、人件費や燃料費の高騰などから、現在の運行体制のままだと、負担金は年々増加していきます。

#### ✓収支率の低下

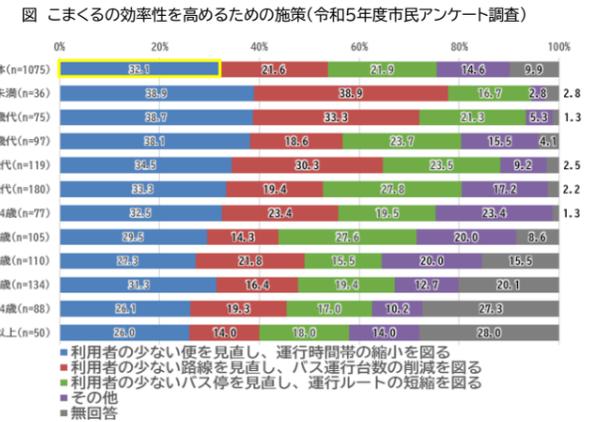
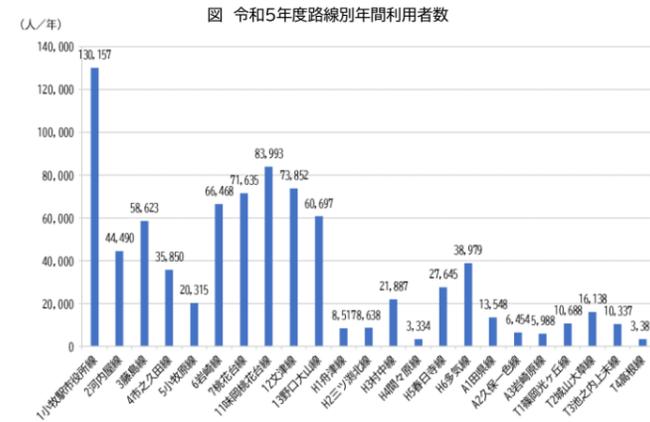
料金収入は年々微増しているが、収支率は約5.6%であり、また、利用者の内訳としては、高齢者、障がい者の利用が全体の73.5%を占めている他、市が実施している無料施策が1.4%となっており、料金が発生する利用者が19.1%となっている。



### 現在のこまくるの運行に関する課題

#### ✓利用者数の少ない路線、便

こまくるの利用状況から、利用者数の少ない路線や、朝夕の利用の少ない便などを見直す必要がある。令和5年度に実施した各種ニーズ調査では、「こまくるの効率性を高めるための施策」において、「利用者の少ない便を見直し、運行時間帯の縮小を図る」という回答を多くいただいています。



#### ✓乗り継ぎの不便さ

令和2年に実施した再編では、定時性・速達性の確保などを考慮し、ルートを設定したが、目的地によっては乗り継ぎが必要となり、利用者から「乗り継ぎが不便だ」「乗り継ぎの際の待ち時間が長い」という意見が多く挙がっています。また、各地区からルート設定やバス停の設置等に関する要望をいただいています。

